禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B1

「中央職業能力開発協会編」

令和５年度 技能検定
２級 園芸装飾 学科試験問題
(室内園芸装飾作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　インドアガーデンの砂利の整地は、こうがい板で仕上げる。

2　太い枝を切る鋏は、木鋏よりも剪定鋏の方がよい。

3　インドアガーデンの縁取り材に使用するロープは、できるだけよりの固いものがよい。

4　インドアガーデンでは、日本原生の植物を使用しない。

5　インドアガーデンに使用する植物は、鉢付きのまま使用しなければならない。

6　混植とは、同一種類の植物を2本以上植えることをいう。

7　臨時インドアガーデンの床面にポリエチレンフィルムを敷く目的は、漏水の防止や床面の保護などである。

8　カラテアの管理は、直射日光の下で行うとよい。

9　イヌマキは、ニッコウヒバに比べて耐陰性に優れている。

10　ハランは、耐陰性がない。

11　マツを室内装飾に使用する時期は、夏期よりも冬期の方がよい。

12　クラフト紙は、吸湿性や断熱性があり、観葉植物の包装材に使われている。

13　鉢土を覆う場合、落葉は、装飾効果のある材料である。

14　樹木の目通りとは、幹の直径のことである。

15　植物は、人工光線のもとで光合成を行わない。

16　花芽分化した頂端分裂組織は、一般に、それ以後も葉を分化する。

17　植物の分類では、科の中に一つ以上の属があり、属の中に一つ以上の種がある。

18　植え替えでは、植物がぐらつかずに動かなければ、鉢と根の間に隙間があってもよい。

19　種子の発芽を促す方法として、低温処理や薬品処理等がある。

［A群（真偽法）］

20　温度や湿度等の環境の変化が大きいと、ベンジャミナは、落葉しやすい。

21　土壌には、肥料成分を吸着・保持する働きがある。

22　鉄、ホウ素及び塩素の三大要素にマンガンと銅を加えたものを、肥料の五大要素という。

23　チャドクガは、周年で発生する。

24　温室の自然換気は、一般に、天窓や側窓を開けることによって行われる。

25　事業者は、労働者が労働災害等により死亡又は休業したときは、遅滞なく労働者死傷病報告書を所轄警察署長に提出しなければならない。

［B群（多肢択一法）］

1　突き棒の使用に関する記述として、適切なものはどれか。
　イ　植物の支柱に使用する。
　ロ　四ツ目垣根に使用する。
　ハ　鉢上げ時、根の周囲に土を突き込むのに使用する。
　ニ　縁取り材として使用する。

2　庭木のマツのミドリ摘みに関する記述として、正しいものはどれか。
　イ　春先に針葉を摘み取ること。
　ロ　秋に茂りすぎた葉や枝を抜くこと。
　ハ　冬に緑のマツカサを摘み取ること。
　ニ　初夏に最初の新芽を摘み取ること。

3　文中の(　　)内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。
　一般に、マダケは、(　　)期に切り出したものが耐久性がある。
　イ　春
　ロ　夏
　ハ　秋
　ニ　冬

4　次のうち、和風インドアガーデンに適していない植物はどれか。
　イ　クロマツ
　ロ　ナンテン
　ハ　カクレミノ
　ニ　フェニックス・ロベレニー

5　次のうち、海岸の近くへの植栽に適していない樹木はどれか。
　イ　トベラ
　ロ　ヒマラヤスギ
　ハ　クロマツ
　ニ　イヌマキ

6　観賞用鉢物の受皿として、最も多く使われているものはどれか。
　イ　木製
　ロ　金属製
　ハ　陶器製
　ニ　プラスチック製

［B群（多肢択一法）］

7　縁取材として、適切なものはどれか。
イ　丸太
ロ　川砂
ハ　バークチップ
ニ　水苔

8　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
四ツ目垣の竹材には、一般に、(　　)を使用する。
イ　シノダケ
ロ　モウソウチク
ハ　クロチク
ニ　マダケ

9　次のうち、雌雄異株の植物はどれか。
イ　ソメイヨシノ
ロ　ブンゴウメ
ハ　イチョウ
ニ　ユズ

10　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
アナナスの開花の促進には、(　　)を植物ホルモン剤として用いる。
イ　エチレン
ロ　ジベレリン
ハ　オーキシン
ニ　サイトカイニン

11　植物、気候区及び原生地の組合せとして、正しいものはどれか。

	(植物)	(気候区)	(原生地)
イ	コーヒーノキ	熱帯雨林気候区	ブラジル
ロ	サイウンカク	サバナ気候区	インド
ハ	アレカヤシ	熱帯雨林気候区	インドネシア
ニ	アオキ	温暖湿潤気候区	日本

12　次のヤシ科の植物のうち、株立種はどれか。
イ　トックリヤシ
ロ　フェニックス・ロベレニー
ハ　アレカヤシ
ニ　マニラヤシ

［B群（多肢択一法）］

13　次のうち、掌状葉を持つ植物はどれか。
　イ　アオキ
　ロ　ヤツデ
　ハ　ツバキ
　ニ　オキシカルディウム

14　次のうち、双子葉植物はどれか。
　イ　パンパスグラス
　ロ　シクラメン
　ハ　カトレア
　ニ　カンノンチク

15　次のうち、ラン科の植物はどれか。
　イ　オリヅルラン
　ロ　クンシラン
　ハ　ノシラン
　ニ　シュンラン

16　次のうち、ウコギ科の植物はどれか。
　イ　ポリシャス
　ロ　バンマツリ
　ハ　コーヒーノキ
　ニ　サクララン

17　鉢替えに関する記述として、正しいものはどれか。
　イ　植物の生育に応じて、鉢の大きさを替えることである。
　ロ　ある場所から他の場所に植え替えることである。
　ハ　畑から鉢へ移植することである。
　ニ　鉢から畑へ移植することである。

18　鉢上げ作業の手順として、誤っているものはどれか。
　イ　植木鉢は、水平で安定した場所に置く。
　ロ　幹が全体として垂直になるように、遠近構造物の垂直線などを利用して幹を据える。
　ハ　根巻材は、すぐに腐るのでそのまま鉢植えする。
　ニ　幹を一方の手で固定し、培養土を根玉の周囲に入れ、突き棒などで均一に突き込む。

［B群（多肢択一法）］

19　次のうち、風媒花はどれか。
　イ　リンゴ
　ロ　ソテツ
　ハ　ナシ
　ニ　マンゴー

20　植物の開花特性に関する記述として、誤っているものはどれか。
　イ　一般に栽培されるバラは、適温で栽培されれば、日長に関係なく一年中開花する。
　ロ　秋ギクは、日長が短くなると、開花する。
　ハ　ポインセチアは、日長が長くなると、花芽を着けて苞が赤くなる。
　ニ　ノビル系デンドロビウムは、一定期間低温にさらされることによって、花芽を分化する。

21　腐葉土に関する記述として、正しいものはどれか。
　イ　一定の比率で数種の土壌を混ぜ合わせたものである。
　ロ　枯葉や小枝などを腐らせたものである。
　ハ　pH7.5程度の弱アルカリ性である。
　ニ　通気性や排水性が悪い。

22　施肥の時期による呼び名として、誤っているものはどれか。
　イ　お礼肥
　ロ　追肥
　ハ　液肥
　ニ　元肥

23　病害虫に関する記述として、誤っているものはどれか。
　イ　うどんこ病は、白い粉をまぶしたような模様が出る。
　ロ　灰色カビ病は、花弁に褐色の斑点が出る。
　ハ　スス病は、カイガラムシ等の分泌物に病原菌が繁殖して、黒くなったものである。
　ニ　カイガラムシの幼虫や成虫に同一の薬剤を使用しても、駆除効果は同じである。

24　温室の型式の両屋根タイプ(単棟)に関する記述として、誤っているものはどれか。
　イ　棟を南北にするとよい。
　ロ　棟を東西にすると、室内の温度差が著しくなる。
　ハ　夏には、片屋根式よりも室温の管理が容易となる。
　ニ　夏には、片屋根式よりも室温が高くなる。

［B群（多肢択一法）］

25　労働安全衛生法に関する記述として、正しいものはどれか。

イ　労働災害の発生の急迫した危険があるときは、直ちに作業を中止し、労働者を退避させる等の措置を講じる。

ロ　高齢者などが従事する作業は、本人の希望だけで配置する。

ハ　20歳未満の労働者は、医師による健康診断を必要としない。

ニ　有資格者等でなければできないクレーンの運転業務であっても、有資格者等の監督のもとであれば、誰でも行うことができる。